

ごあいさつ

私はプロの写真家ではありません。

撮影技術や、性能のいいカメラを持っているわけでもありません。故郷雲南省の少数民族貧困児童への教育支援活動を始めて十年。法人格を取得し、NPO法人 日本・雲南聯誼協会を設立して七年。調査や開校式のため、自分で雲南省の山奥に足を運び、出会ったもの。それは厳しい自然環境、経済環境のなかで懸命に生きる子供たちの純朴な笑顔でした。

カメラも知らない子供たちの、飾らない、自然のままの笑顔に惹きつけられ、自然と切っていたシャッター。写真に写っていたのは、逞しさと、豊かな心を持つ子供たちの姿でした。

雲南省の子供たちに「何が好き？」とたずねると、誰もが口を揃えて、「勉強が好き」「学校が好き」と答えます。

大自然とともに生きる、中国雲南省の少数民族の子供たち。

彼らの生きる逞しさ、無垢な笑顔を、どうぞご覧になってください。心の中に清らかな感動がこみ上げてくるとともに、大きな活力が湧いてくることと思います。

今回、150点の作品の中からその一部の35点を紹介することになりました。今後も、機会を作って少しずつ紹介していきたいと思っています。

初鹿野恵蘭



雲南省怒江州のとあるリス族の小学校で

〈略歴〉

初鹿野恵蘭 HAJIKANOK/KEIRAN
NPO法人 日本・雲南聯誼協会 理事長

中国雲南省昆明市生まれ
1987年 留学のため来日
1996年 雲南省麗江大地震が発生。
貧困少数民族地域への教育支援活動を開始
2000年 特定非営利活動法人 日本・雲南聯誼協会設立
2007年 現在、事務局を東京都雲南省の省都・昆明市に置く

NPO法人 日本・雲南聯誼協会は、中国・雲南省に住む25の少数民族にそれぞれ2校ずつ小学校を建設することを目標に「50の小学校プロジェクト」を進めており、現在は15校目の小学校を建設中。幼い頃より写真撮影が好きで、現在も現地視察の際には必ずカメラを手放さない。

協会は、教育支援活動を主としながらも、雲南省内の大学や雲南省政府関係、昆明市政府関係が来日する際の窓口になっている。